

2021年12月9日
内閣サイバーセキュリティセンター

重要インフラ 14 分野を対象に
サービス障害対応のためのサイバー演習を実施
～ 2021 年度「分野横断的演習」～

2021年12月8日(水)、内閣サイバーセキュリティセンターは、重要インフラ分野におけるサービス障害への対応能力の維持・向上を図ることを目的に、「分野横断的演習」を実施しました。

この演習は、重要インフラ 14 分野の事業者等が参加するものであり、最新のサイバー情勢を踏まえた重要インフラ事業の継続が脅かされるケースを想定し、実際の事案発生を模擬することにより、重要インフラ事業者等が実施するセキュリティ対策が有効に機能しているかを検証し、改善につなげるためのものです。

演習開催に当たり、牧島かれん大臣の挨拶（ビデオメッセージ）がありました。

牧島大臣は、デジタル化の進展とサイバーセキュリティ確保の同時推進、「DX with Cybersecurity」を進めていくことについて触れた上で、本演習への参加を通じて、参加者がサイバーセキュリティへの取組に関する課題を抽出・改善し、重要インフラサービスの安全かつ継続的な提供につなげることを期待する旨の挨拶を行いました。

今年度も新型コロナウイルス感染症対策のため、集合会場を使用せず、参加者には自職場（テレワークを含む。）から参加していただきました。約 4,800 名が参加し、ランサムウェア攻撃における対応について確認するなど、障害対応体制の強化を図りました。



開会式にてビデオメッセージで挨拶を行う牧島大臣